

始業式「一寸千貫」



1月10日、23年度3学期のスタートとなる始業式がありました。

今年のお正月は、天気も良くおだやかなお正月でした。年も変わり、気持ちも新たな新山小学校の子どもたちは、元気に始業式を迎えました。

その時、校長先生から教えていただいた言葉が「一寸千貫」でした。

これは、大工さんが使う言葉で、一寸（約3cm）角の細い柱でも、千貫（約3750kg）の重さに耐えられるということです。ただし、これには一つの条件があります。それは、その柱がまっすぐに立っていることだそうです。



姿勢を良くして、まっすぐに取り組むことが大切なのだということです。

3学期は短い学期ですが、まとめの時期でもあり来年度に向けて準備の時期でもあります。このお話を聞いて、大切な3学期、姿勢を正して過ごしていこうという気持ちになった子どもたちでした。